

本日（7月4日）火災を想定した避難訓練を実施しました

生徒には伝えないで、火災を想定した避難訓練を行いました。消防の方を招いて避難の様子を見ていただき、講評をいただきました。また、火災時の行動について学習させていただきました。

○校庭に避難後、生徒会長 井上さんに消防の方より自己評価を求められました。そのコメントを紹介します。

「抜き打ちであたふたしていたが、素早く行動ができていた。校庭に出たとき、リーダーが指示を出しているのにしゃべっている人がいた。指示をしっかりと聞くことが大事だ。」

○消防の方からいただいた主な内容です。

おおむねできていたという講評をいただきました。次に避難訓練における大事なことを学びました。内容は次のとおりです。

- ・「お・は・し・も」は小学校まで。中学生はリーダーが必要。先生がいない場合、リーダーシップを取る人が必要。
- ・炎は急激に燃え広がらない。（慌てないこと）煙は急激に広がる。特に上方向には素早く広がる。横方向は歩く程度の速さで広がるから、横方向に逃げる。
- ・とにかく煙から遠ざかること。下の階で火災が起こった場合、屋上に逃げてもよい。
- ・火災で命を落とす多くの原因は、有毒な煙を吸って。ハンカチや服で口と鼻を覆うこと。
- ・火災が発生したらとにかく避難行動を起こす。具体的には、外に出る。

その他、「火災が発生したときは、炎や煙の様子をみて冷静に判断することが大事です。学校の校舎は鉄筋でできているので、急激な炎の広がりはないので、慌てないで行動してください。炎や煙を見て臨機応変に行動することが大事です。」と御指導いただきました。

本日の避難訓練をきっかけに、御家庭で避難時の行動について話題にしてみてもいいかがでしょうか。